

学校名 草加市立谷塚中学校
所在地 草加市谷塚上町6 2番地
電話 048-925-2421

1 本校の概要

本校では、「学び合う生徒、思いやる生徒、高め合う生徒」という教育目標の下に文武両道の生徒の育成を目指している。図書教育としては、毎週火・木曜日に朝読書を全校で取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

イ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

本校では学校図書館の利用生徒数を増加させる為どのような工夫が必要であるかを、図書委員が主体的に考え実行している。生徒自身が入館する生徒の目線に立って考える事で、学校図書館がより親しみ易い場所になっている。

ア 図書委員によるオススメ本のポップ作

図書委員が実際に読んで面白かった本を、自作のポップを用いて紹介している。



イ 美術部と協力して、本のポスター作製・展示
 美術部員に協力を依頼して、本の表紙を大きなポスターにしてもらい、その展示とともに本を飾ることで興味増進と貸し出しの促進を行った。



ウ 図書掲示の充実

学校図書館に足を運ぶ生徒数を増加させる為に、常に新しい情報が書かれた掲示を行っている。



エ リクエストによる入荷

生徒が興味のある本を取り入れるために、入荷して欲しい本をリクエストしてもらっている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学校図書館来場者の増加

図書委員が主体的に工夫を考え、実践するにつれて昼休みの学校図書館来場者が増加している。

イ 朝読書や読書感想文で学校図書館の本を用いる生徒の増加

朝読書のための本を昼休みに学校図書館に借りにくる生徒が増加した。教室を回っても学校図書館の本を読書している生徒が多く見られる。

(2) 課題

ア 本の配架位置の明確化

学校図書館の来館生徒から、どこになんの本があるかわかりづらいという声が寄せられた。配架位置についてマップを大きく作成などの工夫で改善していきたい。

イ 授業での活用が少ない

教科の特性上、国語科や社会科の学校図書館利用率に比べて他教科の利用が著しく劣る。

(3) おわりに

学校図書館の利用者増加は、学校全体の生徒の読書量の増加に繋がっている。図書委員の工夫によって増えていることで内発的動機付けにもなっている。課題の解決として、辞書や黒板アートといった教科で使うことのできる図書の需要を聞き、それに応えることで各教科での学校図書館の有効的利用ができるようにしていきたい。